

# 芸 術

1年	音楽Ⅰ
1年	美術Ⅰ
1年	書道Ⅰ
2年	音楽Ⅱ
2年	美術Ⅱ
2年	書道Ⅱ
2年	デッサン入門
2年	ソルフェージュ
3年	ピアノ伴奏法
3年	音楽理論
3年	応用デッサン

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コース/クラス		芸術	音楽 I	必修選択	2単位	大森久美子
教科書	音楽之友社「ON! 1」		副教材	iPadへのデータ配信		
授業のねらい	英語の歌の曲想を理解した上で歌えるようになる。楽器(ギター)のコードを習得し演奏が出来るようになる。日本の歌について知り、歌詞の内容や文化背景を日本語(又は簡単な英語)で説明することで、言語技術の能力をつける。					
学習上の留意点	・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組みましょう。 ・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。					
評価方法	授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	歌唱:校歌指導、Pops、日本の歌	器楽:ギター	校歌指導を通して愛校心を育てる。校歌を英語で歌えるようにする。歌詞の内容を理解し、発音に注意して英語で歌えるようにする。		
	5月	歌唱:Disney songs、Pops、日本の歌		コードの知識を習得し、簡単な演奏ができるようにする。日本の伝統的な歌を知り、歌えるようにする。簡単に歌詞の内容や曲の世界観を日本語または簡単な英語で説明できるようにする。		
	6月	歌唱:Disney songs、Pops、日本の歌	器楽:ギター	伸び伸びとした良い発声で歌詞の内容を理解し、発音に注意して英語で歌えるようにする。ギターで英語の歌が弾き語りできるようにする。		
	7月	授業内テスト				
2 学 期	9月	歌唱:ミュージカル劇中の歌	登場人物の心情を理解しながらミュージカル作品内の歌を歌えるようにする。			
	10月	鑑賞:ミュージカル「Sound Of Music」 ミュージカルの歴史	ミュージカルにおいて音楽と演劇、舞踏、舞台美術など他の芸術との結びつきを理解した上で、日本語字幕付きの英語音声で鑑賞する。			
	11月	歌唱:ミュージカル劇中の歌、 外国の民謡	外国の民謡において、その時代背景や国の歴史等を理解しながら歌えるようにする。			
	12月	器楽:ミュージックベル 創作:ミュージカル(英語寸劇) 授業内テスト	ミュージカル作品より英語で寸劇を行い、表現をつけて発表する。ミュージックベルを通してグループ活動を行い、リズムカやアンサンブルする力を身に付ける。			
3 学 期	1月	歌唱:外国の民謡、Pops、合唱曲	伸び伸びとした良い発声で歌詞の内容を理解し、発音に注意して英語で歌えるようにする。			
	2月	器楽:コードネームについて 創作:世界の音楽	キーボードを使用してコードネームの理解 世界の音楽を調べ、その国の音楽を理解した上で作曲することができたか			
	3月	授業内テスト	英語の曲で発音に注意し簡単な曲を弾き語りすることが出来たか			

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 特進コースSクラス 1年生 進学コースAクラス		芸術	音楽 I	必修選択	2単位	大森久美子・尾又好美
教科書	音楽之友社「ON!1」		副教材	プリント		
授業のねらい	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、独創的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽が好きな生徒、音大・保育関係へ進学希望者は特に履修を勧めます。</li> <li>・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組みましょう。</li> <li>・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。</li> </ul>					
評価方法	授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	歌唱:発声 校歌指導		斉唱曲をのびのびと歌わせ発声法を習得、読譜力の向上 校歌指導を通して愛校心を育てる		
	5月	器楽:三線		沖縄伝統楽器三線の習得度、日本音楽を理解し愛着を深める 和楽器についての仕組みや歴史、奏法、楽曲の理解		
	6月	歌唱:斉唱曲、外国語曲		のびのびとした豊かな発声、外国語曲の発音や特徴を理解する		
	7月	鑑賞:世界の民族音楽 授業内テスト		世界の民族音楽への関心を深め、諸外国の音楽の特徴を感じ取り、表現や奏法を解釈し、理解する。		
2 学 期	9月	歌唱:斉唱曲		のびのびとした豊かな発声で歌えたか 正確なリズムと音程で歌う事が出来たか		
	10月	鑑賞:オーケストラについて 劇音楽について		管弦打楽器の仕組みや奏法を理解し、オーケストラの時代背景を学ぶ 作曲家・作品への理解度		
	11月	ミュージカル鑑賞 歌唱:斉唱曲		音楽と演劇、舞踏、美術など他の芸術との結びつきについて ミュージカルとオペラ、様々な劇音楽との違いや時代背景を理解する		
	12月	音楽史 授業内テスト		のびのびとした豊かな発声、正確なリズムと音程で歌う事が出来たか 古典派からロマン派までの作曲家、作品を理解する		
3 学 期	1月	歌唱:外国語曲、合唱曲 器楽:コードネームについて		歌詞の心情や時代背景を把握し表現することが出来たか		
	2月			コードネームを理解し、ポピュラー音楽との結びつきを理解する 音の基本である音階を理解し、どんな音楽が日常生活に与える影響を理解する。		
	3月	授業内テスト		4小節程度の作品を作曲し、音楽の構成を学ぶ。 キーボード用いて鍵盤楽器の基本的な奏法を理解 右手はメロディー、左手はコード伴奏で曲を弾くことができたか		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コースAクラス		芸術	美術 I	必修選択	2単位	海老根捺稀
教科書	日本文教出版「高校生の美術1」		副教材	プリント、参考作品		
授業のねらい	観察によって様々な情報を受け止める力を養い、それらを自分のフィルターを通して表現する力を身につける。同時に作品を完成させる喜び、達成感を体験する。					
学習上の留意点	自然物を主な対象として、人間が安易に創造できない自然の持つバランスや生命力を感じ、いかに表現するかを模索する。モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、総合的な観察力を身につける。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。(年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力も評価する。)					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	「教科書の中のお気に入り作品を探そう」鑑賞模写	鑑賞では、なぜ自分がその作品を選んだかを掘り下げ、自分探しの手がかりとする。			
	5月	「立方体制作及び光と陰影を学ぶ」鉛筆素描	モチーフの形を観察によってとらえ、どのように表現していけば、「らしく」なるのかを考え、学ぶ。			
	6月	「真珠の耳飾りの少女」素描模写	モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。			
	7月	「校内風景画」(山本二三さん作)水彩模写				
2 学 期	9月	「風景を描く」水彩	モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。			
	10月					
	11月	「季節の風景や動植物をテーマにしたペーパーステンド制作」デザイン	素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。			
	12月					
3 学 期	1月	「ゴム版画制作」版画	テーマに基づき、素材の特性を生かし、工夫をして表現する。			
	2月	「東野イメージポスター制作」デザイン	自ら情報を集め整理し、自分の思う東野をポスターとして表現する。情報収集や構成、色使いの工夫を心がける。			
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
1年生 進学コース Aクラス		芸術	書道 I	選択必修	2単位	助村明美
教科書	光村図書「書 I」		副教材	特になし		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写から書道への変化に対応し、様々な書体の学習を通して表現の多様性を習得する。</li> <li>・中国殷代から清、日本の古典や古筆についての知識と技能を習得する。</li> <li>・様々な書のジャンルに触れることで、感性を磨き芸術的な視点を身に付ける。</li> </ul>					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典、古筆の背景知識を理解し、書道史の大きな流れを知るための努力をする。</li> <li>・毎時間の課題に熱心に取り組み、技術向上の意識を常に持ち続ける。</li> <li>・書道室の使い方を理解し、公共の場としての利用を心掛ける。</li> </ul>					
評価方法	毎時間の課題(作品・ワークシート)、授業内テスト結果、授業態度を総合的に判断し評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	書写から書道へ 楷書法を学ぶ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年の目標を書で表現し、発表を行う。</li> <li>・書の表現の多様さを理解する。(書道史概観を含む。)</li> </ul>		
	5月	「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初唐の三大家の書風を理解し、書法を習得する。</li> <li>・三大家の比較を通して、古典の見方を学ぶとともに自らの好みを明確にしていく。</li> </ul>		
	6月	「雁塔聖教序」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔真卿の独特な書風と書道史上の位置づけを学ぶ。</li> </ul>		
	7月	顔真卿の書		<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔真卿の独特な書風と書道史上の位置づけを学ぶ。</li> </ul>		
2 学 期	9月	「牛橛造像記」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北魏の鋭利な書風を学ぶ。</li> </ul>		
	10月	行書法を学ぶ 「蘭亭序」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・王羲之の古典から行書の基本を学ぶ。</li> </ul>		
	11月	「風信帖」 成田山全国競書大会に向けて 作品制作		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田山全国競書大会に向けて作品制作に取り組む。</li> <li>・表現の多様性を身に付け、作品としての完成度を高める。</li> </ul>		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月	仮名書法を学ぶ 「いろは歌」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の誕生に遡り、その書道史を理解する。</li> <li>・草仮名、変体仮名についての知識を習得する。</li> </ul>		
	3月	「蓬萊切」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小筆の筆遣いを学ぶ。</li> <li>・古筆の臨書方法を学ぶ。</li> </ul>		

2022年度 シラバス

2022年度 シラバス					
対象	教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)	芸術	音楽Ⅱ	必修選択	2単位	大森久美子・尾又好美
教科書	教育出版「音楽Ⅱ 改訂版 Tutti」		副教材	プリント	
授業のねらい	音楽の幅広い活動を通して創造的な表現力・鑑賞能力を伸ばすとともに、世界の文化・芸能を吸収し、平和を愛する心情を養う。				
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽が好きな生徒、音大・保育関係へ進学希望者は特に履修を勧めます。</li> <li>・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組みましょう。</li> <li>・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。</li> </ul>				
評価方法	授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。				
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。				
学習計画	単元		学習目標		
1 学 期	4月	歌唱:発声、原語曲、鑑賞曲	発声に気を付け、のびのびと歌うことが出来たか 原語や斉唱曲、鑑賞曲で表現力を身につけさせる。		
	5月	校歌指導 器楽:ギター	校歌指導を通して愛校心を育てる。 コードネームの理解とストローク奏法の習得		
	6月	器楽:ギター	ギター伴奏で弾き語りをさせる。		
	7月	授業内テスト			
2 学 期	9月	歌唱:発声、原語曲、鑑賞曲	原語や斉唱曲、鑑賞曲で表現力を身につけさせる。		
	10月	創作:リズム 器楽:ブームワッカー 鑑賞:世界の民族音楽	リズム感、協調性を育てる。 世界の民族音楽への理解を深める。		
	11月	器楽:ミュージックベル	ミュージックベルアンサンブルの習得度		
	12月	授業内テスト			
3 学 期	1月	歌唱:英語の歌、合唱曲	英語の歌で、歌詞の意味や背景にある情景、心情に関心を 持たせ表現させる。		
	2月	鑑賞:クラシック作品	作曲者の生涯、作品の背景等、クラシック作品を通して豊かな 感性を育てる。		
	3月	授業内テスト	ロマン派から近現代までの作曲家、作品を理解する		

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)		芸術	美術Ⅱ	必修選択	2単位	海老根捺稀・菅原英雄
教科書	日本文教出版「高校生の美術2」		副教材	プリント、参考作品		
授業のねらい	感じる事、考えた事、観察によって発見した事を第三者にその思いを伝えることを目標とし、同時に制作の喜び、感動を体験してもらいたい。					
学習上の留意点	自然物を主な対象物として、自然の持つダイナミズムや生命力を感じ観察を深め自分らしい表現を模索してゆく。モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、観察力を身につける。自ら情報を集め、整理し、自分の思いを表現する構成を行う。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。(年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。)					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	「立方体を持った手を描く」鉛筆素描		モチーフの形を観察によってとらえ、どういう風に表現していけば、「らしく」なるのかを考え模索する。		
	5月	「水辺のある風景(シスレー作)」を描く 水彩模写		モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。		
	6月	「レイヤーアート制作」		奥行のある構造を活かした作品制作を通して、奥行や3Dといったことに対する意識を高める。		
	7月					
2 学 期	9月	「マッチ棒工作」		素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。空間や量を意識した表現を試みる。		
	10月					
	11月	「スクラッチボード制作」		素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。他者の作品鑑賞を通して、美術作品の良さを味わう。		
	12月					
3 学 期	1月	「トートバック制作」		使えるもののデザインを通して用の美を学ぶ。三角、四角、丸といった図形をもとに構成、色使い表現方法を工夫し、伝えたい事を分かりやすく表現する。		
	2月	「段ボールアート制作」		素材の特性を活かして立体表現の楽しさを知り、計画的に制作をする。他者の作品鑑賞を通して、美術作品の良さを味わう。		
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス(文系)		芸術	書道Ⅱ	選択必修	2単位	小池功一郎
教科書	教育図書「書Ⅱ」		副教材	特になし		
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書写から書道への変化に対応し、様々な書体の学習を通して表現の多様性を習得する。</li> <li>・中国殷代から清、日本の古典や古筆についての知識と技能を習得する。</li> <li>・様々な書のジャンルに触れることで、感性を磨き芸術的な視点を身に付ける。</li> </ul>					
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典、古筆の背景知識を理解し、書道史の大きな流れを知るための努力をする。</li> <li>・毎時間の課題に熱心に取り組み、技術向上の意識を常に持ち続ける。</li> <li>・書道室の使い方を理解し、公共の場としての利用を心掛ける。</li> </ul>					
評価方法	毎時間の課題(作品・ワークシート)、授業内テスト結果、授業態度を総合的に判断し評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	篆隸書法を学ぶ 「曹全碑」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・隸書について書道史的な位置づけを知る。</li> <li>・隸書の筆法を学ぶ。</li> </ul>		
	5月	「乙瑛碑」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・隸書の特徴を学ぶ。(字形や太細)</li> <li>・半切へ作品としてのまとめ方を学ぶ。</li> </ul>		
	6月	「居延漢簡」				
	7月	「泰山刻石」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆書の基本点画を学ぶ。</li> <li>・篆書の基本原理を体現できるように鍛錬を積む。</li> </ul>		
2 学 期	9月	北魏楷書法を学ぶ 「張猛龍碑」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北魏楷書の書法を学ぶ。</li> <li>・龍門20品の書風の違いを理解する。</li> </ul>		
	10月	「始平公造像記」				
	11月	成田山全国競書大会に向けて 作品制作		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田山全国競書大会に向けて作品制作に取り組む。</li> <li>・表現の多様性を身に付け、作品としての完成度を高める。</li> </ul>		
	12月					
3 学 期	1月					
	2月	仮名書法を学ぶ 「継色紙」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古筆の臨書方法を学ぶ。</li> <li>・古筆による書風の違いを学ぶ。</li> </ul>		
	3月			<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の作品制作のポイントを学ぶ。</li> </ul>		



2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		芸術	デッサン入門	選択	2単位	海老根捺稀
教科書	なし		副教材	プリント、参考作品		
授業のねらい	難しいと思われるデッサンを、分かりやすく基礎から学び定着させる。デザイン的な課題制作を通して、他者への表現を考えさせる。自己表現の可能性を広げ描く楽しさを体験する。					
学習上の留意点	美術、デザイン系への進学希望者は、授業だけではなく放課後や自宅学習でもデッサンに取り組むようして下さい。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。(年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。)					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	「静物デッサン」		モノが複数置かれた状態の空間観察、表現を学ぶ。		
	5月					
	6月	「飲み物のポスター制作」		既成の飲み物を対象に、色と形で他者にいかに伝えるかを考えながら制作する。		
	7月					
2 学 期	9月	「読書感想画制作」		本の感想を対象にして、平面にいかに表現するのかを構成を意識した表現を学ぶ。感想画コンクールへの出品。		
	10月					
	11月					
	12月					
3 学 期	1月	「白彫板制作」		半立体の素材の性質を理解したうえで、テーマを元にしたレリーフ制作を行う。		
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
2年生 進学コースAクラス		芸術	ソルフェージュ	選択	2単位	大森久美子
教科書	なし		副教材	プリント、コールユーブンゲン、コンコーネ、リズム教本		
授業のねらい	基礎的音感の育成、正しい音程による歌唱力の獲得によって自己の総合的音楽力を養う。音を聞き取る力、聞き取った音楽を楽譜に正確に書く力、楽譜を読んで歌う力、等を養うことを目標とする。					
学習上の留意点	調性感覚、音階の歌唱、読譜力を取得する。音楽大学や音楽関係のコース、保育士の進学を希望する生徒は積極的に受講すること。					
評価方法	授業時間内に実技テスト、筆記テストを行い、授業の取り組みを含めて総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	音符休符、拍子の基礎 リズム読譜	音符や休符の長さ、拍子(単純拍子と複合拍子)の理解 リズム打ちにより、正しい音の長さを理解する。			
	5月	リズム応用 リズム聴音	複雑なリズムの読譜力をつける。 簡単なリズムパターンを聴いて楽譜に書く力をつける。			
	6月	音程練習	音の高さを正確にわかるようにする。			
	7月	聴音(単旋律)	簡単な旋律を聴いて楽譜に書く力をつける。			
2 学 期	9月	聴音(単旋律)	調号2つまでの単旋律聴音の習得 楽譜を書く・読む力、音楽全体を捉える力を養う。			
	10月	視唱	簡単な旋律、コールユーブンゲンで楽譜を読む能力をつけ、 正しい音の高さとリズムで歌う。			
	11月	聴音(和音)	2声、3声の和音聴音の習得			
	12月	調性感覚、音階の歌唱	コールユーブンゲン、コンコーネの視唱を通して調性感覚を 習得する。			
3 学 期	1月	楽曲分析	楽曲における音楽の構造(内容)の分析方法を理解する。			
	2月	音楽史	著名な作曲家の作品を鑑賞し、その楽曲の構造を理解する。			
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		芸術	ピアノ伴奏法	選択	2単位	鈴木敬子
教科書	なし		副教材	プリント使用		
授業のねらい	楽譜をしっかり読めるようにし、メロディーに伴奏をつけて弾けるようにする。 コードの仕組みや進行の仕方を理解し、ピアノ鍵盤を使って曲を豊かに表現する能力を育てる。					
学習上の留意点	ピアノ演奏に必要な要素を基礎から学びます。音楽大学や音楽関係のコース、保育士の進学を希望する生徒は積極的に受講して下さい。					
評価方法	授業時間内に実技テスト、筆記テストを行い、授業の取り組みを含めて総合的に評価する。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	ピアノ奏法基礎 コードの理解		指の使い方、楽譜の読み方について 長3度と短3度の和音、セブンスの作り方		
	5月	長調における主要三和音		ハ長調、ヘ長調、ト長調の理解 簡単な旋律に伴奏をつけ演奏する		
	6月	短調における主要三和音		イ短調、ニ短調の理解 簡単な旋律に伴奏をつけ演奏する		
	7月					
2 学 期	9月	移調		様々な調性に対する理解		
	10月	非和声音 ベース音		和声音と非和声音の理解 転回形とアルペジオ奏法、左手の奏法についての理解		
	11月	伴奏実践		メロディー譜に伴奏をつけ、演奏をする		
	12月	伴奏実践		メロディー譜に伴奏をつけ、演奏をする		
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		芸術	音楽理論	選択	2単位	尾又好美
教科書	なし		副教材	プリント、五線紙、コールユーブンゲン		
授業のねらい	リズム、旋律、和声などの音楽の諸要素を正確に聴取し、楽譜を正確に読み取って表現する能力を育てる。 「楽典」「聴音」「視唱」によって、音楽性豊かな表現をするための基礎的能力を養う。					
学習上の留意点	音楽を演奏する上で、必要な要素を基礎から学びます。 音楽大学や音楽関係のコースの進学を希望する生徒は積極的に受講して下さい。					
評価方法	授業時間内に「楽典」「聴音」「視唱」等のテストを行います。					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元		学習目標		
1 学 期	4月	導入 楽譜について、音符と休符		楽譜の読み方、書き方を理解し、習得する 音符や休符の長さ、表現についての理解		
	5月	リズム、拍子と指揮		五線や様々な音部記号の理解 様々な拍子とそのリズムが持つ特徴を理解し、 身体表現(指揮)を体感する。		
	6月	拍子と記譜 視唱		正しい記譜法について 8小節程度の簡単な旋律を視唱する。		
	7月	聴音 作曲家と作品		旋律や和音を聴いて楽譜に書き記す。 音楽史における著名な作曲家の作品鑑賞		
2 学 期	9月	音程 移調と近親調		様々な音程についての理解 関係調や移調、転調に関する仕組み		
	10月	視唱・聴音		音階的進行、三和音の跳躍を中心とした視唱練習 各種音部記号の読譜を習得させ、楽譜に書き記す。		
	11月	和音、コードネーム 色々な記号、音階		和音の構成、コードの仕組み 速度や表現記号、様々な音階について 4和音の跳躍、臨時変化音を中心とした視唱練習		
	12月	視唱 楽曲分析		様々な作品を鑑賞し、時代背景や楽譜を読み取り、楽曲の特徴を学ぶ		
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					

2022年度 シラバス

対象		教科	科目名	単位		担当者
3年生 進学コースAクラス		芸術	応用デッサン	選択	2単位	海老根捺稀
教科書	なし		副教材	プリント、参考作品		
授業のねらい	デッサンの魅力を知り、デッサンの基本や技法を習得したうえで、最終的には自己を表現することを模索してほしい。鉛筆等を使用して描き、幅広く観察する能力を養う受験に対応できる実力の基礎を身につける。					
学習上の留意点	美術、デザイン系への進学希望者は、授業だけではなく放課後や自宅学習でもデッサンに取り組むようして下さい。					
評価方法	実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。(年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。)					
観点別評価	以下の3観点をそれぞれ、ABCで評価する。①知識及び技能の習得できているかの評価②知識及び技能を活用し、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかどうかの評価③知識・技能や思考力・判断力・表現力を身につけるために、自ら積極的に学ぼうとする姿勢があるかの評価。					
学習計画		単元	学習目標			
1 学 期	4月	「幾何形体デッサン」	幾何形体による、光と陰影の観察、表現を学ぶ			
	5月	「静物デッサン」	モノが複数置かれた状態の空間観察、表現を学ぶ			
	6月	「石膏像デッサン」	確実な基礎力と表現力を身につける。			
	7月					
2 学 期	9月	「風景デッサン」	校内の風景を題材にして、鉛筆素描により観察力や表現力を学ぶ。			
	10月					
	11月	「静物デッサン」	どんな組み合わせのモチーフに対しても、対応できる実力を身につける。			
	12月					
3 学 期	1月					
	2月					
	3月					